

建設部会長報告

会議名：第2回建設部会

日時：2021年6月22日（火）
13:30～15:00

場所：秋田商工会議所7階ホール80

出席者：部会員20名、水澤専務理事



懇談：

テーマ①「**建設業の担い手確保・育成等に係る支援策について**」

ゲスト 秋田県建設産業担い手確保育成センター

教育・訓練機関連携担当 三浦 寿哉 氏

女性活躍推進担当 森山 千恵子 氏

テーマ②「**男女関係なく働きやすい建設業**」

ゲスト (株)清水組 土木部 田村 唯 氏

テーマ①「建設業の担い手確保・育成等に係る支援策について」

ゲスト：秋田県建設産業担い手確保育成センター

教育・訓練機関連携担当 三浦 寿哉 氏

女性活躍推進担当 森山 千恵子 氏

- 2021年3月卒業の秋田県内高校生の県内建設会社内定者152名（前年比19名増）の内、女子生徒が26名（前年比7名増）となった。
- 建設企業が高校に出向き、やりがいや地元で働くメリットなどを説明する「建設企業出前説明会」は、学校・企業ともに好評であり今年度も感染防止対策を行いながら継続して開催する。
- 県内建設業における女性技術者は増加傾向（2020年は2016年の約1.5倍）にあり、特に20代の雇用数が増加している一方、30代では雇用の落ち込みが見られる。
- 2017年の平鹿建設業協会を皮切りに、昨年度までに秋田県建設業協会の全支部に女性部会が設立され、スキルアップを図る講習会や建設業の魅力を女性視点で情報発信している。
- 各地域の女性部会員を中心とする全県域のネットワーク「クローバー」は現在会員数180名となっており、昨年度は県に対する要望活動を実施した。

テーマ②「男女関係なく働きやすい建設業」

ゲスト (株)清水組 土木部 田村 唯 氏

- 実際に現場管理の仕事をしている自分からすると、女性が働くのは大変だという考え方自体疑問である。
- 県では女性技術者登用モデル工事として、女性用トイレや更衣室の整備に力を入れており、世の中の風潮もあることから、女性に対する手厚いフォローが得られる時代である。
- これまで配属された現場では、重機オペレーター、生コンミキサー運転手、交通誘導員が女性という現場も経験した。このようなことから、男女の区別が必要な仕事ではないと感じている。
- 担い手確保については「汚い・きつい・危険=3K」のイメージを払拭するとともに、定着が図られるよう女性活躍をアピールすることが課題である。
- 新入社員も含め、既存の社員が働きやすい会社であることが理想であり、それに近づけるかが今後の建設業の鍵であると感じている。
- 当社では、社員の人柄や職場の雰囲気等が伝わるよう、ホームページの他、インスタグラムやフェイスブック、ツイッターを活用して積極的に情報発信しており、学生からの反応も多くなっている。このような取組が建設業の男女問わずの雇用促進につながっていくと思う。